



## カエルの吸ばんは何のためにあるの

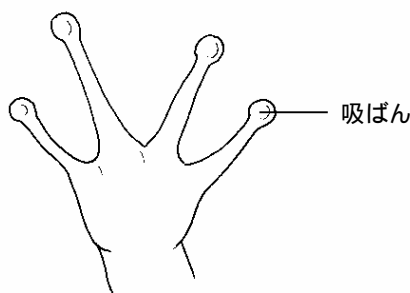
### 木の上でくらすカエルには吸ばんがある

カエルの仲間は、おもに生活する場所で、大きく二つに分けられます。よく、草や木の葉の上に、ちょこんとのおっている緑色のアマガエルは、ほとんどいつも、地面ではなく、木の上などですごします。このタイプのカエルの仲間は、足を観察すると、指が長く、指の先に吸ばんがついています。この指や吸ばんで、葉っぱや木の枝にしっかりとつかまらなければならぬからです。木の枝につかまって産卵するモリアオガエルも、同じタイプで、やはり吸ばんがついています。

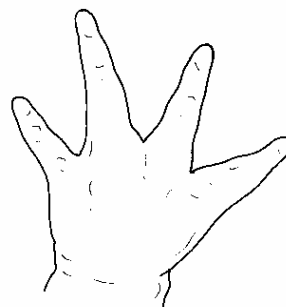
### 地上でくらすカエルは吸ばんがない

いつも、地上をのそのそ歩いているヒキガエルなどは、木の枝につかまることはありません。ですから、足には吸ばんはついていません。ヒキガエルの足の裏は、かたい地面を歩き回るのにつごうがよいように、指の部分などが、人間の足の裏と同じような、かたい皮ふにか変わっています。

生き物の体は、たいてい、その生活に合ったように、できています。そういう体になった生き物だけが、ほろびずに残って、今も生きているのです。(監修・今泉 忠明)



アマガエルの足の裏



ヒキガエルの足の裏

